

令和6年度「国際交流・多文化共生推進事業助成金」
助成事業一覧表

	No	事業名	団体名
国際交流・協力事業	1	国際理解ワークショップ	(公財)大垣国際交流協会
	2	日中民間交流事業	岐阜県日本中国友好協会
	3	2024年日中友好牡丹祭	岐阜日中文化交流協会
	4	国際交流会	岐阜市第4ブロック青少年7育成市民会議
	5	ポーランド国立民族合唱舞踊団シロンスク招へい事業	恵那市国際交流協会
	6	くむんだーを使った日豪文化交流 Kumundar in Australia: Sharing Japanese Art & Culture through Creativity and Play	くむんだー郡上
多文化共生推進事業	1	外国籍の子どもの進学・就学支援	日本語ボランティア鮎の会
	2	「ワタシバ」からつながるまちづくり推進事業	(特非)可児市国際交流協会
	3	日本人と外国にルーツを持つ住民の相互理解と交流	(特非)美濃加茂国際交流協会
	4	「MICHILINK つながり プロジェクト」	多文化演劇ユニットMICHILINK
	5	KIAフェスティバル実施事業	各務原国際協会

令和6年度 国際交流・多文化共生推進事業助成金事業一覧表（国際交流・国際協力）

No	事業名/団体名	開催時期・場所など	事業内容・効果など
1	国際理解ワークショップ (公財)大垣国際交流協会	開催日： ①インドネシア編 R6. 8. 18 13：30～15：00 ②ブラジル編 R7. 1. 19 13：30～15：00 場 所： ①②大垣市スイトピアセンター 参加者： ①19名（日本人11名、外国人8名） ②22名（日本人15名、外国人7名）	外国の伝統料理や家庭料理を学ぶことを通して横断的な文化交流・国際交流を図った。また、在住外国人が講師となり、いろいろな国の参加者に母国を紹介する発表や料理方法を日本語で指導することで、活躍の場の提供となり、国際理解を促すことができた。 今後も、文化・国籍横断的な交流ができる機会を提供していきたい。
2	日中民間交流事業 岐阜県日本中国友好協会	「日中ぎふフォーラム」 開催日： ①第1回 R6. 5. 12 14:00～15:30 ②第2回 R6. 10. 26 14:00～15:30 ③第3回 R7. 2. 1 11:00～14:00 場 所： ①ハートフルスクエアG（岐阜市） ②朝日大学病院 西館（岐阜市） ③グランヴェール岐山（岐阜市） 参加者： ①60名、②70名、③60名	日中民間交流事業として、「中国の対外政策と米中関係」、「日本で中国（人）を伝えること」をテーマにした討論会や講演会、演奏会を開催した。事業を通して、草の根交流の重要性を再認識し、歴史、文化、現代ビジネスなど幅広い交流の場を提供することができた。 今後も、文化、スポーツ、経済分野の交流を深め、アジアの平和と発展に寄与していきたい。
3	2024年日中友好牡丹祭 岐阜日中文化交流協会	開催日：R6. 4. 6～4. 7 場 所：セントラルパーク金公園（岐阜市） 参加者： 主催団体参加者 6名 一般参加者 約1,000名 （うち外国人約100名） 内 容： ・日中芸術家の共演と交流 ・「宮灯」製作体験、伝統芸術の国際交流 ・「漫画コンクール」受賞作品展示、漫画の国際交流 ・中国茶体験・お茶文化の国際交流	第52回岐阜まつり協賛・道三まつり協賛事業の一環として実施し、多数の市民や外国人住民が参加できる各種国際交流や文化体験プログラムを開催した。事業を通じて、日中友好の歴史を伝承するとともに、未来に向けての相互理解、相互尊重、相互協力の精神を醸成する貴重な機会となった。 今後も、文化の違いを超えて相互理解を深められる、継続的な交流の場を提供していきたい。
4	国際交流会 岐阜市第4ブロック青少年7育成市民会議	開催日：R6. 10. 20 場 所：市橋コミュニティセンター（岐阜市） 参加者：71名 内 容：インドネシア郷土楽器「アングルン」での交流	郷土楽器に触れる体験やインドネシア文化についての講話を通して、地域在住者や学生を中心に、国際理解を深める良い機会となった。一人一人がインドネシア楽器を演奏し、一曲をつくりあげる感動を与えることができ、素晴らしい国際交流になった。 今後は、国際交流のイベントを通して、国際理解やボランティア精神を培うことができる場を提供していきたい。
5	ポーランド国立民族合唱舞踊団シロンスク招へい事業 恵那市国際交流協会	開催日： ①ポーランド国立民族合唱舞踊団「シロンスク」と恵那市の交流会 R6. 10. 9 17：30～20：00 ②舞踊ワークショップ R6. 10. 10 9：00～10：00 場 所： ①メゾンドジャルダン（恵那市） ②恵那文化センター集会室（恵那市） 参加者： ①90名（日本人29名、外国人61名） ②74名（日本人70名、外国人4名）	民族舞踊に触れる交流会やワークショップを通して、ポーランド共和国の文化に触れ、岐阜県及び恵那市とポーランドの交流の機運を高めることができた。 今後は、恵那市民にさらに親近感をもってもらえるような交流や体験を計画していきたい。
6	くむんだーを使った日豪文化交流 Kumundar in Australia: Sharing Japanese Art & Culture through Creativity and Play くむんだー郡上	開催日：R7. 1～7. 2 場 所：①キャンベラ②ホバート③シドニー 参加者：①延べ82名 ②延べ2,300名以上 ③延べ73名 内 容： ①木工ワークショップ他 ②Australian Wooden Boat Festival他 ③木工ワークショップ他	オーストラリア3都市における、ワークショップや講演会、フェスティバルの出展を通して、日本の建築や木工の文化・技術を知り、学んでもらう機会をつくることができた。さらに、岐阜・郡上の認知度向上や、岐阜ブランドに興味を持ってもらうきっかけとなった。 今後も、日豪の持続可能な文化交流の場をつくっていきたい。

令和6年度 国際交流・多文化共生推進事業助成金事業一覧表（多文化共生）

No	事業名/団体名	開催時期・場所など	事業内容・効果など
1	外国籍の子どもの進学・就学支援 日本語ボランティア鮎の会	開催日：R6. 4. 1～R7. 2. 28 ・毎週水・金 10:00～11:00 ・毎週木 13:00～14:30 ・オンライン（適宜） 場 所：ハートフルスクエアG（岐阜市） 参加者：外国にルーツをもつ子ども ①高校進学支援 5名 ②高校就学支援 4名 内 容：①日本語、受験教科、小論文、面接指導、志望校見学等 ②在学中の子どもに対し、教科補習、学校生活・進路相談等	高校進学支援においては、日本語が全く話せず文字の理解も困難であった子どもに対し、基礎的な日本語力を習得させ、受験に向けた学習意欲を育むことができた。また、家族の都合で来日し、将来の見通しを持てなかった子どもに対しても、「高校に進学して友人を作り、日本で生きていきたい」という希望を持たせることができた。 高校就学支援においては、同世代の子どもたちと共に学ぶ中で緊張が和らぎ、笑顔が見られるようになった。さらに、日本語能力試験N3およびN2相当の日本語力の習得や、大学受験合格にもつながる成果が見られた。
2	「ワタシバ」からつながるまちづくり推進事業 (特非)可児市国際交流協会	開催日：R6. 4～R7. 2のうち12回 ①やさしい日本語を使って活動・交流する場「ワタシバ」 ・毎月第3日曜 13:00～15:00 ・10回（うち外国人企画運営2回） ・テーマ：年中行事、防災、料理等 ②外国人が運営・橋渡ししたイベント2回（土田地区センターまつり等） 場 所：可児市福祉センター他 参加者：可児市及び周辺在住の外国人及び日本人 延べ78名 外国人運営者等：延べ17名	「ワタシバ」の活動が認知されたことで、外国人と日本人が参加・交流できる場を、可児市内に新たに設けることができた。これにより、外国人の地域活動への参加が促進され、地域や外国人同士のつながりも生まれた。 また、外国人主体のベトナム料理会や、土田地区社協主催イベントで外国人が企画・運営に関与するなど、日本人キーパーソンとの協働の機会も得られ、今後の活動の発展につなげることができた。 来年度以降は、ワタシバが任意団体として自立し、活動基盤を整えることで、多文化共生のまちづくりを推進していきたい。
3	日本人と外国にルーツを持つ住民の相互理解と交流 (特非)美濃加茂国際交流協会	開催日：R6. 11～R7. 2のうち4回 ①外国につながる先輩と子ども達の交流会 ②多国籍BBQ交流会&災害の話 ③外国料理交流イベント ④多国籍料理・やさしい日本語交流会 場 所：美濃加茂市生涯学習センター他 参加者：美濃加茂市及び近隣の在住外国人及び日本人 ①32名②38名③21名④61名	①の交流会では、外国にルーツを持つ先輩が、小・中・高校生に対し、進路選択等に関する体験談や助言を行った。参加した子どもは、自身の希望や可能性に気づき、将来に向けた学習意欲の向上につなげることができた。 ②～④のイベントでは、外国人と日本人が交流するとともに、災害対策としてハザードマップの見方や非常食の作り方について理解を深めていただいた。また、日本人には「やさしい日本語」の必要性を説明し、実際に使用する機会も提供できた。
4	「MICHILINK つながりプロジェクト」 多文化演劇ユニットMICHILINK	開催日：R6. 6～R7. 2 ①MICHILINK（交流サロ）8回 ②介護保険勉強会 1回 ③つながるアート 1回 ④キャッサバ掘り体験 1回 ⑤なんでも相談会 1回 場 所：可児市文化創造センターala、キャッサバ畑（可児市）他 参加者：可児市及び近隣の在住外国人等 ①延べ13名 ②8名③5名 ④76名⑤15名	①のMICHILINKでは、外国人向けの情報提供と交流の場を設け、生活や就労等の相談にも対応した。 ②の勉強会では、日本の介護保険や相談窓口、利用可能な支援について理解を深めた。③キャッサバ掘り体験や④つながるアートには、日本人・外国人を問わず地域住民が参加し、地域とのつながりを育む機会となった。⑤の相談会では、労災、年金、相続など幅広い相談が寄せられ、弁護士等の専門家が助言を行い、問題解決へとつながった。 本事業を通じ、外国人に必要な情報が十分に届いていない現状を改めて認識したことから、今後も勉強会等の取組みを継続的に実施していきたい。
5	KIAフェスティバル実施事業 各務原国際協会	開催日：R6. 11. 24（日）10:00～16:00 場 所：各務原市産業文化センター 参加者：一般約1,200人 内 容：外国人と日本人が共に企画し、外国人も主役になれる多文化共生・国際交流イベント「KIAフェスティバル2024」を開催。 ・各国ブース（文化紹介等） ・ステージ（外国の話等） ・クラフト（ベトナム等） ・キッチンカー（各国料理）	昨年度より200人多い1,200人の参加があり、多くの各務原市民に多文化共生への理解を一層深めていただくことができた。日本人市民はボランティアとして参画し、各ブースの制作に携わりつつ外国人市民と交流を図ることにより、異国で生活する外国人市民の孤立感の軽減を図り、日本文化への適応を支援する一助となった。 これからはより日本人市民と外国人市民がお互いを思いやり、お互いに支えあう関係を築いていく必要があるため、このような事業を積極的に進めていきたい。